

オプトアウト登録用紙

① 研究課題名

大腿骨近位部骨折患者から見える圏域の現状と今後の課題

② 研究母体

独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター

③ 研究目的

当院がある医療圏域は高齢化率約 38%の地域である。圏域の大腿骨近位部骨折患者の手術はほぼ全例当院で行っている。二次性骨折予防を目的として、大腿骨近位部骨折手術を受けた患者にチームで介入している。大腿骨近位部骨折患者から、圏域の現状や今後の課題について抽出することを目的とする。

④ 利用・または提供する資料・情報の項目

対象患者の年齢、要介護度、生活拠点、転機先、受傷場所等を比較検討する。

⑤ 研究方法

診療録を用いた後ろ向き研究

当院で大腿骨近位部骨折に対して手術を行った症例のうち、圏域在住者の症例を対象とする。④に記載した調査項目について調査する。

⑥ 研究期間

令和 5（2023）年 4 月～令和 7（2025）年 10 月

⑦ 資料・情報の管理について責任を有する者（研究責任者・研究代表者）

所属 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター

氏名 山本悠策（地域医療連携室）

連絡先 0855-25-0505（代表）

上記研究に賛同されない患者様は上記連絡先までご連絡ください。